

鈴木賢和議員

防災会議に女性委員を増やすことが必要

問 防災会議に女性委員が少ないと、女性の意見が反映されにくいのではないかと。

答 袋井市防災会議条例により、市長が会長となり22人を委員として任命しているが、女性が3人で全体の13・6%である。女性委員の選出や女性の意見が反映できるように努めたい。

地元気象台による地域気象防災支援は

問 地元気象台の連携状況と具体的な取り組みは。

答 平常時、市長と静岡地方気象台長とのウエブ会議で、緊急時における連携体制や協力体制を確認している。また、気象台主催の研修会に職員が参加し、情報を共有している。



年末の交通安全運動一斉街頭指導

飲酒運転根絶に向けた施策は

問 飲酒運転根絶への考えと取り組みは。

答 年末の交通安全県民運動の今年の重点目標として、飲酒運転等の危険運転防止を掲げ、一斉街頭指導やメローねっとなどによる啓発を行う。今後も、関係機関と連携し、飲酒運転を絶対に行わない、させない取り組みを進める。

竹野昇議員

学童保育人員確保のため待遇改善を

問 学童補助員の時給は考えられないほど低賃金。常勤支援員・非常勤補助員の待遇改善を求む。

答 スタッフの方々が誇りとやりがいを持って働けるよう、処遇の改善について検討していく。

児童生徒への手厚い教育環境整備が必要

問 教育現場では支援員の増員を強く望んでいるが。

答 教職員の負担が増している。教職員が一人一人の子どもと向き合える時間を確保できるよう、多人数の特別支援学級への非常勤講師配置の充実を県に要望する。また、市で配置している支援員の充実について検討していく。



浅羽支所

浅羽支所利活用は地元との協議が大切

問 仮称ことも交流館計画は、現段階では問題が多過ぎる。根本的な見直し、地域の人たちや関係者との話し合いが大切では。

答 浅羽地区の賑わいの中心となるよう、浅羽地区をはじめ、関係者の皆さんの意見を伺いながら、教育委員会とも連携し、検討を進めていく。

安間亨議員

アーバンスポーツの振興を

問 アーバンスポーツ(都市型スポーツ)の実施環境の整備をいかに進めていくか。

答 まずは、市が主催するイベントでの体験機会の充実に努めたい。また、活動場所の確保に向けては、新たな施設を整備するということではなく、既存のスポーツ施設の敷地内の開放を検討していきたい。

ソーラーシェアリングの普及に向けて

問 市内にソーラーシェアリング(営農型太陽光発電)のモデル地区を導入する考えは。

答 優良農地を守ることを前提としつつ、地域での合意形成が図られた場合には、ソーラーシェアリングと併せて荒廃農地対策に取り組みモデル地区として、農業委員会と協議し、検討していきたい。

問 市内外から多くの若者が集う「広岡河川公園内スケートパーク」の改修や拡充が必要であると考えられているか。

答 コンクリート舗装は、劣化が進んでいる部分もあるため、利用に支障が無いように補修などを行っていく。スケートパークの拡充については、河川区域内でもあり、敷地に拡張の余地が無い難しい。



広岡河川公園内スケートパーク